自尊と敬虔

和木中学校だより　第２５６１号

令和８年１１月２日（月）

〒740-0061　和木町和木２丁目５番２号
TEL 52-4328　FAX 52-5265
和木中Webページ　http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~waki-jhs/

文化祭　１０／２４（土）

志～目標に向かってまっすぐ成長～のスローガンのもと実施しました。合唱コンクールや学年発表をはじめ生徒主体で準備・練習に取り組んできましたが、生徒自身が文化祭を通じて自分自身やクラスの「成長」を実感できたのであればこの上ない喜びです。引き続き、「こどもまんなか」の教育活動に取り組み、「自ら育つ」環境を整えていきたいと考えています。

当日は、たくさんの保護者・地域の皆様にご観覧いただきありがとうございました。











「ボランティアの活性化について」のアンケート結果　　～　地域課題の解決に向けて　～

「何のために生きていくのか」をお休みにし、今回は「ボランティア活動の活性化」についてのアンケート結果をお知らせします。

７月に生徒会役員と学校運営協議会委員さんとで「地域の創り手としてできること」をテーマに熟議を行い、「ボランティアの活性化」という意見が多く出されました。

また、９月には町議会の兼本議長さんに、ボランティアを必要としている地域の実情や中学生の活躍に期待を寄せる地域の皆様の声等をお話ししていただきました。

そこで、「ボランティアの活性化」に向けてどのようなことができるかを生徒にアンケートで答えてもらいました。１３０件以上の回答がありましたが、次頁にその一部を掲載します。他にも多様な意見がありましたので、これらの意見を踏まえ「ボランティアの活性化」に向けた取組の具現化を図っていきたいと考えています。

周知

・挨拶運動呼びかけ: 挨拶運動のお知らせを徹底し、グラフなどをつくりどれだけの人数が来たかなど一目で分かるようにする。
・Instagram で和木町公式アカウントを作り動画などで声かけをする。
・地域の看板や回覧板などや中学生なら教室に提示するだけではなく、いろいろな場所で、呼びかけていくこと。

勧誘

・ボランティアやらない？とか言って誘ってみることや、少しでもやってみよう。とか声をかけてみる。
・ボランティアをしている友達がしていない人を誘う。
・委員会などでもボランティアに参加を促す。

機会の拡充

・自分たちも楽しめるようなイベントをみんなで考えて地域の方とボランティアをする。
・和木町でのイベントを増やす、和木町以外のところでのボランティア活動をする（例えば大竹市や岩国市でのイベントのお手伝いなど）
・活動時間を短くする:部活や用事で時間が合わなかったり休日が潰れるのが気になる人もいるので時間を短く参加人数を増やしたらいいと思う。

目的・意義

・活動の目的を明確にする。目的があると全体の意識が一つになり活性化につながる。
・ボランティアについて詳しく知り、自分たちが行動することで何が変わるのか、これまでどんな人が何をしてきたのかを知り、より自分ごとに捉えてもらう。
・一週間や一ヶ月に 1 回や 2 回など積極的にやり、自分たちがボランテイアをやって学んだことを保護者や地域の方々に自分たちが学んだことを説明し、和木町全員ができるようにしたらいいと思いました。
・メリットをつくる。

ボランティアの日

・ボランティアの日を作り、その時に沢山ボランティアする。
・中学校全体でボランティアをする時間をつくる。
・学年ごとにそれぞれボランティアをする日をつくる。

モチベーションの向上

・参加することでスタンプが貯まり、スタンプが一定の数までいくと報酬。（友達を誘って参加することでスタンプは倍になる。x 人参加すればその全員にそれぞれ x 倍になる。）
・ボランティアスタンプラリー
　町全体でボランティアの日を作り、その日はいろいろな場所でボランティアできるようにして、各場所でボランティアをすればスタンプを押す。